

# 教室だより

佐渡市立金井小学校  
佐渡ことば・こころの教室  
平成20年5月18日  
第735号

〒952-1209 佐渡市千種155

：0259(63)4156(直) 4115(代) FAX：4117

<http://www.sado.co.jp/kanaisyo/>

E-mail：kanal es@sado.ed.jp



新緑がまぶしい季節です。この時期の植物は、太陽の光を思い切り浴びようと、太陽の方向に葉を広げていくそうです。若葉のもつ力強さと爽やかさ、そして太陽のような明るさを見習いながら、日々の指導に取り組んでいきたいと思えます。

## 支援を考える

ことばの教室が来年40周年を迎えるということを知ったある会員の方は、「子どもがお世話になるまで教室の存在を知りませんでした。そんなに前からあったんですね。」と驚いた様子でした。実は、私もこちらの担当になることが決まるまで、この教室の存在を知りませんでした。(教室の名は知れ渡っていたはずなのですが、情報が素通りしてしまったようです。教員として恥ずかしい限りです。)

さて、そんな歴史のある教室の親の会会則には、その目的として「保護者が手を取り、広く社会の人々の正しい理解と協力によって、悩みや問題を解決するための事業を進める」とあります。子どもたちの、そしてメンバーの悩みを解決するための事業を行うために、会員同士が協力し合うことが大切だということです。

誰に対しても分け隔てない支援が行われる社会を夢見て、私たちは生きています。自分も含めたみんなが安心して暮らすことができるからです。親の会会員の皆さんが、お子さんの障がいの種類や程度に関係なく、今以上に互いに支援し合うことができたら、そんな社会が少し近付くのではないかと思います。夏の学習会にはぜひ多くの会員から御参加いただきたいと思えます。(中村哲裕)

## 目標は「子どもの笑顔」

～(いなほの会主催講演会)より～

明石洋子氏 7月12日(土)来島決定!

明石洋子さんの息子さん、徹之さんは現在35歳。知的障がいと自閉症がありますが明るく元気に働いています。川崎市の職員として採用されて15年。その仕事ぶりや暮らしはNHKで何回か放送されました。洋子さんは、徹之さんを育てるに当たり、「息子の人生を値切らない。目標は息子の笑顔」をモットーにしたそうです。幼いころパニックがひどかった徹之さんを母親の洋子さんは「パニックは激しい自己主張」と肯定的にとらえ、その主張をくみ取ってかなえてあげることで、徹之さんを笑顔にする努力をしたのだそうです。パニックを押さえ付けず、意志をくみ取るようにしたり、水へのこだわりをトイレ掃除に発展させたりしたからこそ、徹之さんは好きなことがたくさんあって、やりたいことに向かって頑張る人に育ちました。洋子さんは、徹之さんの「やりたいこと」を具体的に支援するプログラマーです。詳しくは、洋子氏の著書【ありのままの子育て；自立への子育て；お仕事がんばります；ぶどう社】でどうぞ。子育てのヒント満載です！(香遠直子)



# お知らせ拡大版



## 親子レクリエーション・親の会総会・通級説明会がありました

5月10日(土)に、今年度最初の行事がありました。

親子レクリエーションは、親子で楽しめる音楽遊び「ミュージック・ケア」でした。子どもたちは、楽しい音楽に合わせて体を動かしたり、列車やトンネルになったり、たくさんのビニル袋の山に埋もれたり寝ころんだり大喜びでした。

「ミュージック・ケア」の途中から、親の会総会が行われました。総会では、今年度の役員、事業、予算が承認されました。御参加くださった会員の皆さん、どうもありがとうございました。そして、講師をしてくださった新星学園の岩崎先生、ありがとうございました。また、ボランティアとして参加してくださった皆さん、佐渡看護専門学校・伝統文化と環境福祉の専門学校・佐渡高等学校・佐渡総合高校の生徒の皆さん、本当にお世話になりました。今後もよろしく願います。

最後に、今回レクリエーションに参加していただいた保護者・ボランティアの皆さんの感想の一部を紹介します。

ミュージック・ケアでは、「我が子にもこんなことができるんだ。」と思いました。自信に繋がるチャンスを与えてもらいました。総会では、自分の学校のPTA活動の他に、皆さんがこのように頑張っているのが分かりました。(保)

毎年、ミュージック・ケアを楽しみにしています。総会では自己紹介があり、他の子どもたちの様子も聞けて、いろいろと考えさせられました。(保)

音楽を通してみんなで楽しく活動できてよかったです。子どもが好きなので、とてもいい経験になりました。(ボ)

参加していた子どもたちはみんな体を動かすことが好きで、とても元気がよかったです。実習で小児科に行く時に参考にできることがたくさんありました。(ボ)



## 今年度の対象者について

今年度の指導対象者は118名で、障害別対象者は次の通りです。

- |             |               |          |
|-------------|---------------|----------|
| ・ 構音障害 37名  | ・ 言語発達遅滞 26名  | ・ 吃音 12名 |
| ・ 口蓋裂 1名    | ・ 選択性緘黙 2名    | ・ LD 2名  |
| ・ ADHD 5名   | ・ 広汎性発達障害 26名 |          |
| ・ 情緒障害傾向 2名 |               |          |

## 子育て ワンポイントアドバイス その1

～子どものことばについて～

子どもが正しい話し言葉としての語音を獲得し正しく構音できるようになるのは6歳前後と言われています。特に複雑な舌の動きが必要な「サ行音」「ラ行音」は一番最後に獲得される音と言われています。ことば・こころの教室でも夏季休業中に各保育園・幼稚園の年長児を対象に言語検査を行っています。是非、活用してください。